

- ・開催日時 令和5年12月7日(木) 午前10時～11時30分
- ・開催場所 勝間公民館学習室
- ・出席者 広石(聖)委員長・・・明るい勝間づくり推進協議会会長
国澤 雅彦委員・・・勝間地区社会福祉協議会会長
藤本 道彦委員・・・勝間地区自治会連合会会長
北野 みさ子委員・・・公民館利用者代表
秋本 茂之委員・・・学級教室代表・高齢者教室運営委員長
広石(良子)委員・・・勝間地区女性クラブ代表
福永 敬委員・・・勝間小学校長
藤井 邦夫委員・・・国府中学校長
【公民館】森原清館長、加藤衛社会教育委員、木戸麻耶主事補
- ・欠席者 なし

◆議事◆

○館長から始めの挨拶

- ・本日の会の趣旨について説明(①公民館事業の運営についての中間報告である。②今年度実施した地域と公民館事業の共催事業の報告について。③情報交換。)
- ・防府市公民館運営審議会規則(S29防府市教育委員会規則第9条)第5条3項によって、委員長が会議の議長となること、第7条の議事手続きにより、審議会の会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとあるが、本日は8名の委員全員の出席があるので会を開催できる旨、宣言。
- ・公民館運営審議会の議事録は、HPに掲載(公開)されることへの了承を得る。

○委員長挨拶

- ・まだまだ、新型コロナウイルス感染やインフルエンザが流行しているが、お互いに気を付けたい。今会の議事の進行について、ご協力いただきたい。

◆協議◆

1 令和5年度公民館事業の実施状況について(議案 個別に進行)

○第36回勝間地区文化祭における展示・ステージ発表について

- ・資料に基づき、加藤社会教育指導員が説明。

(出展者、観覧者等からの意見では、大変好評であった。今年度は、地域と共催での全面開催であったので、記録を残しておくことの大切さに気付いた。ステージ発表については、空席が目立った面もあるので、広報活動等への工夫も必要だと感じた。)

【意見】

・今年度は他の公民館の文化祭を見に行ったが、どこも生け花の出品があって華やかであった。勝間公民館には、現在はサークルや市民教養講座に生け花がないので、出品されていないが、来年度は、小中学校に依頼して、出品していただく方向で検討できないか。(利用者生代表)

・小学校では、正課クラブとして、フラワーアレンジメントがあるので、検討したい。(勝間小学校長)

→全出席委員承認。

○文化講演会について

・資料に基づき、加藤社会教育指導員が説明。

(参加者は、ほとんどの人が高評価であったが、予想していたより、参加者が少なかった。)

【意見】

・参加者として、本当に良いものを見せていただいたが、講師への謝金を含めて、予算的な措置等について、事前に知らされていなかったため、少し、納得いかない面があった。(連合自治会長)

・後ほどの「地域と公民館の共催事業について」のところで議題として挙げているので、そこで議論したい。(広石委員長)

→全出席委員承認。

○学級・教室について

・資料に基づき、加藤社会教育指導員が説明。

(にじいろ倶楽部(家庭教育学級)と高齢者教室については、参加者率(登録者と出席者で判断)が低い。女性学級と高齢者教室を合同開催も考える必要があるか?)

【意見】

・参加率については、マイクロバスの人数とか人数制限がある会があったので、制限なしの会と分けて、各会個別の参加率を出す必要がある。(連合自治会長)

・高齢者教室等については、高齢者というネーミングが悪い。名前だけの登録者については、運営委員の若返りを含めて、運営委員会で検討していきたい。(高齢者教室運営委員長)

・公民館の学級・教室は、生涯学習という観点から考えると参加率とか出席者の人数の多さだけで片付けられないところがあるのではないか。(広石委員長)

・女性学級に参加している者としても、参加者が興味関心のあるものばかりを追い求めたメニューばかり組んでいくのはいかがかと思う。その場合には、どうしても参加人数は減るが、その中で、必要な内容であるからこそ、人集めを頑張るのが運営委員だと思うので、参加者数の結果だけで判断してもらおうと良くない。(利用者代表)

→全出席委員承認。

○市民教養講座・登録サークルについて

・資料に基づき、館長森原と木戸主事補が説明。

(市民教養講座については、今年度は9つ開設されたが、中には、申込人数は12名と16名であったが、後期から10名と9名になっている。これは、一つは、3月31日時点では、12名の受講申し込みであったが、5月の開講以前に急遽引越しが決まったとか、体調不良で開講式前に不参加となった。また、他の一つは、開講したのちに、参加者の幼児の託児の問題であったり、参加者が高齢であったり、思っていたものと違って、ついていけない等の理由で退会者が出た。公民館係とも相談したが、年度当初に講師に対して、開設すると宣言したものについては、受講者への通知を含めて、年度途中で講座開設を中止することはできない、ということで、今年度は、講師謝金は赤字になっても、継続して開講していく。)

【意見】

・市内の公民館社会教育指導員会議等でも懸案事項として、議題として挙げられている(社会教育指導員)

・今後も、市の担当部署と協議して進めてもらいたい。ただし、募集の時点で、講師や受講申し込み者に、途中解約は難しい旨、しっかりと周知してもらいたい。(広石委員長)

→全出席委員承認。

(2) 令和6年度市民教養講座開設予定について

・資料Pに基づき、木戸主事補が説明。

(着物着付け(前結び)は、昨日、講師の先生から開設の取り消し請求があったので、削除してほしい。「カキラ」については、ネーミングの変更があるかもしれない。)

【意見】

・市民教養講座とサークルの違いについて、説明してほしい。(連合自治会長)

・募集方法や人数等の違いについて説明した。また、12名以上の根拠について、講師謝金との絡みあり。12名未満は、赤字となり、公民館が支出するようになる。(館長、社会教育指導員)
→全出席委員承認。

(3)「国府ふるさとネット」について

・資料に基づき、加藤社会教育指導員が説明。

(年3回の会議の実施。学級・教室で地区の小中学校訪問を実施。最初は、過去からの風評のみで、悪い印象をもっていたが、実際に国府中学校を訪問して、生徒の様子を見学すると大きく印象が変わった。→ものすごく、良い印象を受けた。→ふるさとネットの良いところである。)

【意見】

・実際に小中学校の校長として、ふるさとネットをどのように感じておられるか。(広石委員長)

・中学校を実際に訪問できたりして、中学生の真の姿を見て、小学校長として、いかに児童を育て、中学校に引き渡すか考える機会となった。大変、良い機会である。(勝間小学校長)

・地域との触れ合いを中学生が自ら感じて、行動できているところがありがたい。中学生の活躍の場を与えていただき、感謝している。(国府中学校長)

→全出席委員承認。

3 その他

○地域との共催事業について

・なぜ、今、この議題を出したかについては、新型コロナ禍においてここ3年間は、勝間公民館と地域の共催事業の開催にあたり、うまく連携が取れていたかを見直し、今後の活動に生かしていきたいと考えたからである。

・特に、今年度は、4年ぶりに地区の文化祭を開催できた。本来、実行委員会制で開催内容等を企画・運営していくものだが、4年前から実行委員としてかかわってきている人が少なかったため、企画段階から失敗等の連続であった。地区の文化講演会についても、本来は文化講演会運営委員会を開催して、講師選定から、実施日までの役割分担等をしっかり話し合っ、設定すべきであったが、今年度は、久しぶりの文化祭実行委員会の開催と同時進行は難しいと考え、公民館の方で独自に企画して、明るい勝間推進協議会長と連絡をとって進めてはいるが、それまでの開催の仕方と変えている。別添のとおり、各2年間は、新型コロナ禍で中止したり、規模を縮小したりして、開催したが、やはり文化講演会運営委員会を立ち上げての実施ではなかった。

・そのためか、これまで同様に、地区の自治会組織や勝間公民館の高齢者教室、女性学級に事前に案内を配布していたのだが、実際に文化講演会に参加された人が60名弱であった。

・講師への謝金、旅費等を多く使い、印刷等の経費をかけた割には、参加者が少なく、主催者の明るい勝間推進協議会に迷惑をかけた結果となった。

・今年度の開催が、過去からの開催の歴史を見ると30回目の節目であった。最近、他地区におけるこのような講演会を開催しているところは、皆無に等しいし、市独自でも、当初は夏期大学という形で、市民に有名な講師等を招いての講演を提供していた時期もあったが、現在は実施していない。次年度以降も、これまでどおり、地区の講演会を実施していく方がよいのか、公民館としての方向性を検討していただきたい。(趣旨説明：館長)

【意見】

- ・ここで結論を出すわけにはいかないのではないか。各団体で持ち帰って、協議してはどうか。(広石委員長)
- ・ここにお集まりの皆様は、主だった団体の長なので、一応、ご意見だけをお聞きしておく公民館としては、今後のスタンスがおおよそ決まるので、ありがたい。(館長)
- ・公民館に、任せっぱなしは良くない。自治会等の協力も必要となるので、運営委員会を開催しての実施がよい。(高齢者教室運営委員長)
- ・各団体長と公民館で協議して、それぞれが企画段階から携わることが大切。(女性団体長)
- ・この文化講演会が、地区民のためになるのか、30回目の節目を終えた段階で、今一度、立ち止まって考えていくことも必要。今後、明るい勝間づくり推進協議会の方でも、早急に話し合っ、公民館に結論を伝えたい。(広石委員長)

○情報交換

- ・インフルエンザの流行で、なかなか思うように学校行事ができていない。持久走大会も記録会に縮小しての実施予定。今後の学校関係の行事等は、学校だより等を見ていただいたり、実際に学校を見学していただきたい。(勝間小学校長：福永委員)
- ・吹奏楽部の全国大会出場に際しては、寄付等をいただき感謝する。結果は、金賞(トップ4に入った。)であった。その他も、先日の県駅伝大会で男子が優勝で17日(日)にある全国大会に出場することとなった。女子は3位であった。そのほかの部活動も頑張っている。現在、中学校でもインフルエンザが流行している。中学校3年生は、様々な活動から引退し、2年生にバトンタッチしている。(国府中学校長)
- ・12月10日(日)に福祉弁当を配布する予定。(社会福祉協議会長)
- ・令和6年1月6日(土)17:00～「勝間地区新年の集い」を開催する予定。(連合自治会長)

○館長から終わりの挨拶

○第3回勝間公民館運営審議会の開催予告(令和6年3月14日(木)10:00～11:30)

報告書作成者：勝間公民館長 森原 清